

2016年8月10日

花とハーブの里 御中
PEACE LAND 御中
核燃から海と大地を守る隣接農漁業者の会 御中
大間とわたしたち・未来につながる会 御中
豊かな三陸の海を守る会 御中
三陸の海を放射能から守る岩手の会 御中
三陸・宮城の海を放射能から守る仙台の会 御中

日本原燃株式会社
地域・業務本部

質問への回答について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、7月20日にご質問を頂きました件につきまして、別添のとおり回答いたします。

敬具

(お問合せ先)

日本原燃株式会社 地域・業務本部 広報部 総括グループ

小枝、下田中、今

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字沖付 4-108

TEL:0175-71-2002

FAX:0175-71-2136

回 答

追Q1 A3-1の回答では、高レベル廃液とプルトニウム濃縮廃液が沸騰に至るまで1日程度、水素濃度が可燃限界濃度の達するまで時間が最も早い機器は35時間とある。一方で今年6月15日の審査会合における原燃資料4,6ページでは機器内蒸発乾固（沸騰）到達時間は約15時間、機器内水素爆発（水素濃度8%到達）時間は約7時間とある。それとの関係について説明願う。

A1 前回の回答は、現在のように再処理を行っていない状況で全交流電源喪失を想定し、2011年に評価を行い国に報告したものをベースにしている。

一方、6月15日の審査会合では、新規制基準の要求事項を踏まえ、再処理を行っている状況で新たに設計上定める条件より厳しい条件において発生する事故（B-DBA）を想定し評価したもので説明しているが、本評価についてはまだ審査中であることから、前回の回答としては差し控えたもの。これらの評価については引き続き安全審査の中で対応していく。

追Q2 落雷時に再処理工場を制御する施設である制御建屋はどのような状況だったのか。保安器は設置しなくてもいいのか。また、防災盤や火災報知機が落雷で故障したと聞いているが、その対応と対応策はどうなっているのか。

A2 今回落雷により計器故障が発生した建屋には保安器は設置されていなかったが、制御建屋側には以前より保安器が設置されていた。

なお、火災報知盤・防災盤については建屋間を通信線で取り合っている回路について保安器を設置することとしている。

追Q3 再処理工場の最大想定雷撃電流を当初150kAで設計していたのはなぜか。

A3 再処理施設の耐雷設計は民間規格 JEAG4608「原子力発電所の耐雷指針」に準拠して設計している。

今回の事象および新規制基準の要求事項（外部からの衝撃による損傷の防止）を踏まえ、過去に観測された落雷を改めて調査した上、調査結果の最大雷撃電流211kAを参考に設計余裕を考慮し想定雷撃電流を270kAとすることとしたもの。

追Q4 A2-1の回答で、アクティブ試験で425トン再処理したときに発生した廃液のトータル量を確認したい。また、その際に含まれていたストロンチウム90の値を計算値でよいので回答してほしい。

A4 試験運転（アクティブ試験）において発生した高レベル廃液の総量は、施設の運転管理等に関する当社商業機密情報（公開制限情報）に該当する情報であり、回答は差し控えたい。

また高レベル廃液の成分についても、当社商業機密情報（公開制限情報）に該当する情報であり、回答は差し控えたい。

（参考）

・800tの使用済み燃料の再処理により約1000体のガラス固化体が発生する。

以上